

## Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 25 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2018 年 9 月 22 日(土)

試合時間：15：00～ CC：樋口 俊司 FU：坂元 孝浩 SU：徳丸 昂

|        |          |    |       |    |         |        |
|--------|----------|----|-------|----|---------|--------|
| 九州産業大学 | ○<br>104 | 31 | —1st— | 14 | ●<br>56 | 鹿屋体育大学 |
|        |          | 16 | —2nd— | 11 |         |        |
|        |          | 30 | —3rd— | 21 |         |        |
|        |          | 27 | —4th— | 10 |         |        |

### 第 1 ピリオド

九産大 #3 2 Anthony のバスケットカウントで第 1 ピリオドスタート。#3 2 Anthony のインサイドを軸にスピードのある #3 0 松川、#1 3 上良が立て続けにシュートを決め、勢いに乗る九産大。一方鹿体大は、#2 3 松井のドライブ、#2 1 池浦のミドルシュートで徐々に点差を詰めていく。中盤、九産大 #3 0 松川の連続 3 P シュート、#3 2 Anthony のダンクシュートが決まり、鹿体大は残り 3 : 16 タイムアウトを請求。しかしタイムアウト明けも、流れは変わらず、#1 8 大城のブザービーターが決まり 31 - 14、九産大リードで第 1 ピリオド終了。

### 第 2 ピリオド

流れを掴みたい鹿体大は #2 1 池浦、#1 2 川尻のインサイドを中心にオフェンスを展開し反撃にかかる。九産大は、オールメンバーチェンジをし、セットプレイから #9 米須の 3 P シュート、#2 口石のシュートなどで着々と得点を重ねる。鹿体大はディフェンスリバウンドを確実に取り、得点を離されないよう粘りのディフェンスを見せる。終盤、相手のオーバーファウルによるフリースローを確実に決めるも、九産大 #5 Jeremiah のシュートやオフェンスリバウンドから得点し 47 - 25 で前半終了。

### 第 3 ピリオド

九産大 #1 3 上良、#5 8 鈴木、#4 7 宮崎のブレイクが立て続けに決まり、後半も流れを譲らない九産大。鹿体大は #1 2 川尻のシュートを中心に、ディフェンスを 3 - 2 ゾーンディフェンスに切り替え、流れを掴みにかかる。両チームともアーリーオフェンスを展開し、鹿体大は #2 3 松井のドライブ、九産大は #3 0 松川の 3 P シュートなどで得点する。第 3 ピリオド終了と同時に #3 0 松川が 3 本のフリースローシュートを確実に決め切り、77 - 46 で第 3 ピリオド終了。

### 第 4 ピリオド

鹿体大 #2 櫻谷のシュート、#2 3 松井のバスケットカウントが決まり反撃にかかる鹿体大。対する九産大も #1 2 安藤、#9 米須のシュートが決まり、たまたま残り 8 : 47 鹿体大は後半 1 回目のタイムアウトを請求。タイムアウト後、点差を詰めた鹿体大だが九産大 #5 Jeremiah のダンクシュートや #1 7 東の 3 P シュート、#2 2 川口の連続シュートなどで大きく点差を突き放される。鹿体大はメンバーを大きく変え、新たに攻撃を組み立てるも、最後まで九産大の勢いを止めることができず 104 - 56、九産大勝利でゲーム終了。